

講演者・パネリストのプロフィール



玉沖 仁美（たまおき ひとみ）

（株）リクルート じゃらんリサーチセンター客員研究員

（株）リクルート入社後、全国各地で地域づくりのコンサル事業で活躍。平成12年4月より沖縄支局開設と共に初代沖縄支局長として異動。観光、地域振興、雇用等を主なテーマに県内各地で活躍。平成15年6月、沖縄県に出向し沖縄県キャリアセンター初代センター長に就任。平成17年、東京のリクルート本社に戻り、同社国内旅行専門雑誌「じゃらん」のじゃらんリサーチセンター創設に伴い、初代センター長に就任。平成19年3月末にリクルート社を退職。同年7月より現職。全国各地の地域興し、観光戦略等に係る審議委員等を多数務める。

桜井国俊（さくらい くにとし） コーディネーター

沖縄大学学長

昭和18年生まれ。専門は環境学。工学博士。南太平洋大学開発研究所研究員（在フィジー）、WHOアメリカ地域事務所環境専門官、東京大学客員教授などを歴任。平成12年より沖縄大学教授、平成16年より現職。沖縄県環境審議会会長。やんばる地域の国立公園に関する検討会座長。

久高将和（くだか まさかず）

写真家

昭和26年生まれ。長年やんばるの生きものなどをテーマに写真を撮り続けながら、「やんばるの森」でトラスト運動を普及し、持続可能な社会づくりにむけた人材養成に尽力。今年、長年生息が確認されていなかったオキナワトゲネズミの撮影に成功。国頭村在住。



山川安雄（やまかわ やすお）

NPO 法人国頭ツーリズム協会代表理事

昭和33年生まれ。自営業を営みながら、持続可能な地域社会づくりにつながるツーリズムを推進し、人材育成や環境教育など地域の発展の実現に結びつく活動を展開。やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会（CCY）副会長。国頭村商工会副会長。国頭村在住。



米須邦雄（こめす くにお）

日本ウミガメ協議会会員

昭和27年生まれ。平成8年より大宜味村の海岸を中心にウミガメ類の調査を実施。村内の学校でウミガメに関する環境教育活動のほか環境保全活動に積極的に関わる。北部国道環境検討委員会・ウミガメ専門部会委員。大宜味村在住。



港川實登（みなとがわ みつのり）

東村グリーンツーリズム研究会会長

昭和27年生まれ。平成16年に生まれ育った東村にUターン。農業を営みながら、修学旅行などを受け入れて農業体験や民泊を積極的に行っている。東村観光推進協議会副会長。東村在住。

